

たかぎ



議会だより

No.47

平成21年10月

発行 長野県喬木村議会
編集 議会だより編集委員会
発行責任者 原 嘉俊
印刷 龍共印刷(株)



喬木村発足135周年記念コンサート（9月26日）

平成20年度決算を認定…………… 2
平成21年度9月補正予算…………… 3
北部ブロック町村議会議員研修会…4
常任委員会報告…………… 6

一般質問 10名が村政を問う…… 7
この村に住んで私の一言……………12
台風18号の被害……………12

平成21年第3回定例会

20年度決算を認定

20年度

一般会計特別会計収入支出決算

収入 54億0,349万5,064円

支出 50億8,708万7,518円

起債(借金)より基金(貯金)が 上回る健全財政

起債 27億4,329万円

基金 27億5,657万円

平成21年第3回定例会が9月2日から18日までの17日間の会期で開催されました。この議会に村長から提案された議案は、平成20年度決算認定8件・教育委員会委員の選任の人事案件1件・信州新町及び中条村が長野市へ編入することに関する案件3件・平成21年度補正予算8件・陳情3件、それぞれを同意、認定、議決、採択し、意見書に関係機関へ提出することに決定しました。

議員の一般質問には、10人から14項目にわたり、村政に対しての村の方針等について村長、教育長の考えをただしました。

今定例会は平成20年度一般会計及び特別会計の決算を認定しました。一般会計、特別会計の総歳入額は54億349万円で、歳出総額は50億8千708万円で、3億1千640万円の黒字決算でした。

一般会計決算で、村税は1.74%減の5億4千462万円、地方交付税は0.95%減の15億8千655万円で、歳入全体では対前年度比18.95%の減となりました。

歳出では、135周年記念事業、農業委員会委員選挙、中山間集落づくり支援事業、継続事業村道7号線改良工事、福祉センター耐震改修工事他、村民バスの運行、医療費の中学3年生までの無料化、福祉灯油券支給事業等引き続き実施。昨年実施された次世代型情報通信基盤整備事業、役場庁舎耐震補強工事の大型事業終了により、歳出全体では対前年度比20.90%の減となりました。

基金残高は27億5千657万円で、起債残高27億4千329万円であり、借金より貯金の額が上回りました。

昨年度から報告された自治体の財政健全化判断比率4指標は、「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」は黒字決算により昨年引き続き該当無し「将来負担比率」は充當可能な財源が多いため該当無しとなりました。「実質公債比率」は13.2%で、昨年に引き続き健全な財政運営となりました。

定例議会



鳥獣被害防護柵（上久堅越久保地籍）

平成20年度 決算の状況

会計名		歳入	歳出	差引
一般会計		33億0,408万6千円	30億5,970万1千円	2億4,438万5千円
特別会計	国民健康保険	5億6,839万5千円	5億4,482万1千円	2,357万4千円
	老人保健医療事業	9,300万1千円	9,106万6千円	193万5千円
	後期高齢者医療	5,997万9千円	5,993万7千円	4万2千円
	介護保険	5億8,764万3千円	5億6,804万4千円	1,959万9千円
	村営水道	4億8,134万0千円	4億6,726万1千円	1,407万9千円
	下水道	2億3,941万4千円	2億3,043万2千円	898万2千円
	農業集落排水	6,963万3千円	6,582万7千円	380万6千円
総合計		54億0,349万5千円	50億8,708万7千円	3億1,640万8千円

端数処理につき合計額は一致しません

一般会計補正予算 9,758万9千円を議決

補正予算

- 歳入
 - ・経済危機対策 4,400万円
 - ・地方特例交付金他 5,358万円
- 歳出
 - ・阿島循環線の運営管理負担金 120万円
 - ・庁舎太陽光発電設置工事 2,300万円
 - ・庁舎エアコン更新工事 950万円
 - ・子育て応援特別手当 666万円
 - ・次世代ネットワーク動画自動送出システム設置工事 750万円
 - ・老人福祉施設入所措置事業費 162万円
 - ・中央保育園駐車場用地購入費 411万円
 - ・北、中央、南保育園排煙設備改修工事 494万円
 - ・水路改修工事等 649万円
 - ・クラインガルデン測量経費 100万円
 - ・空き家活用補助金 100万円
 - ・舗装修繕、側溝整備工事 635万円
 - ・埋蔵文化財発掘調査費 932万円
 - 国民健康保険特別会計
 - ・歳入は、国保税率改正と療養給付費交付金の確定、前年度繰越金等歳出は、高額療養費の増加

平成21年度 9月補正予算

会計名		補正金額	予算総額
一般会計 (第4号)		9,758万9千円	32億2,747万2千円
特別会計	国民健康保険 (第2号)	2,710万1千円	5億4,302万6千円
	老人保健 (第1号)	151万8千円	451万8千円
	後期高齢者 (第1号)	19万9千円	6,329万9千円
	介護保険 (第1号)	1,652万4千円	6億1,652万4千円
	村営水道 (第1号)	1,077万9千円	3億2,077万9千円
	下水道 (第1号)	879万2千円	2億2,979万2千円
	農業集落排水 (第1号)	120万6千円	7,020万6千円

○老人保健医療特別会計
 精算による一般会計繰
 出金等

○後期高齢者医療特別会
 計
 歳入は、滞納繰越保険
 料
 歳出は、広域連合交付
 金

○介護保険特別会計
 歳入は、滞納繰越保険
 料、前年度繰越金等
 歳出は、介護給付返還
 金等

○村営水道特別会計
 給水装置工事補助等

○下水道特別会計
 管路敷設工事費等

○農業集落排水特別会計
 前年度繰越金

陳情

◇福祉医療自己負担金引
 き上げの撤回を求める
 陳情 ……採択・関係
 機関へ意見書提出
 陳情者 喬木村122
 68 福澤賢司

◇肺炎球菌ワクチンへの
 公費助成等に関する陳
 情 ……採択・関係機
 関へ意見書提出
 陳情者 喬木村849
 110 三浦宜久

◇ヒブワクチンの早期定
 期予防接種化等を求め
 る陳情 ……採択・関
 係機関へ意見書提出
 陳情者 喬木村84
 9110 三浦宜久

人事



教育委員会委員の任期
 満了により、喬木村99
 1番地1 原三雄氏を選
 任・同意した。

議会活動

北部ブロック町村議会議員研修会
 が喬木で開かれる

『地域の重要課題を
 県に要望』

去る8月11日、下伊那
 北部ブロック町村議会議
 員研修会が、喬木村で開
 催され、北部5町村の議
 員69名が参加し行政関係
 者と来賓を招いて行われ
 た。

各町村で地域発展のた
 めに課題となっている住
 民福祉や、教育、産業振
 興などの重要事項につい
 て、三分科会で、県関係
 者の助言を受けて論議し
 た。

その結果を13項目に集
 約し、去る9月24日、県
 知事、県議会議長、副議
 長、教育長に陳情、要請
 を行った。

その結果について、概
 要は過疎対策法の継続に
 ついて知事は、その実現
 性について理解を示した。
 福祉問題は、乳幼児医療
 費の県費補助対策や、細
 菌性髄膜炎ワクチンの助
 成制度の他、知事として
 苦しい胸の内を、また特
 別養護老人ホーム、下伊
 那日赤産婦人科医師確
 保について努力するとの

返答であった。

危機管理対策として、新たな天童川架橋、松川インター大鹿線改良、宮ヶ瀬橋架け替え、県道上飯田線の改良促進などは県中期計画完了年の平成24年度以降に、改めて検討したい旨の見解であった。

教育関係は、まず障害のある児童生徒に対する支援事業について、下伊

那地域に配慮しているとのこと。また、中学校全学年への30人規模学級とスクールソーシャルワーカーの充実については、今後の課題である。

これらの要望事項は9月県会ですでに検討され、その結果は10月26日に開催の北部ブロック町村議会議員研修会で報告される。

喬木村から提出した要望事項

社会分科会

乳幼児医療費の県費補助対象年齢の引き上げと受給者負担金の引上げ見直しについて
県下の多くの市町村で公費負担の対象年齢引上げが実現されつつあり又、本年度10月より受給者負担金を1レセプト300円から500円に引き上げが行なわれま

す。
一、乳幼児医療費の県費補助対象年齢を、小学校卒業



入学前健康診断

業まで引き上げることに。
二、受給者負担金を、現在の1レセプト300円に据置くこと。

総務分科会

スクール、ソーシャルワーカー事業の充実について
県教育委員会では「悩みを抱える子供への支援」を最重要課題として臨床心理士など「心の専門家」であるスクールカウンセ

ラーを学校に配置するとともに、精神保健福祉士などスクール、ソーシャルワーカーを活用する事業を行っている。しかし少人数のため十分な対応がとれていない。

一、悩みを抱える子供の

産業建設分科会

県道上飯田線の改良促進について
区間の拡幅改良整備を促進すること。

二、飯田養護学校から新小川渡橋北交差点間の歩道の設置すること。



将来を担う子供たち

一、小川・下氏乗地



交流センターから新小川渡橋北交差点を望む



議会議員研修会（福祉センター）

総務産業建設常任委員会

委員会に付託された平成20年度歳入歳出決算認定（一般会計と特別会計の村営水道・下水道・農業集落排水）、21年度補正予算（一般会計と特別会計の村営水道・下水道・農業集落排水）について審議の結果、当委員会は、決算の認定・補正予算いずれも可決した。

決算審議の質疑から

一般会計では、オリジナル年賀状の印刷販売で3千枚残り、村の郵送切手に替えている。

税の口座振替納税が増えない理由として、住民税は均等割のみ納付者が多く、軽自動車税は納税証明書との関係から現金納付、国民健康保険税は後期高齢者制度へ移行などによる。

特別会計では、特別な質疑がありませんでした。補正予算の質疑から「地域活性化経済危機対策特別交付金」の本村への交付金限度額は、1億4千9百万円でこの金額に達してないために、関連事業費を補正した。新政権になって国の補助金は不透明であるが、経済危機対策特別交付金については大丈夫である。特別会計は、いずれも前年度繰越金を計上して補正するものです。

各常任委員会報告



総務産業建設常任委員会

社会文教常任委員会

委員会に付託された一般会計、国保・老人保健・後期高齢者医療・介護保険特別会計の平成20年度歳入歳出決算認定5件、平成21年度補正予算5件は、それぞれ認定、可決した。陳情3件は、採択し、関係機関へ意見書を提出するよう決定した。

決算審議の質疑から

結婚相談事業は、毎月第2土曜日、夜間相談を実施している。社会福祉一般経費の4110万円の増額は主に灯油券補助金の増額。老人福祉施設入所措置事業の131万円の増額は入所者2人分の措置費の増。介護者慰労事業の対象者の把握についてはパソコンに入力している情報を元に確認しており落ちはないと考えている。



社会文教常任委員会

飯伊包括医療協議会負担金の内容は休日、夜間診療の報酬が主で、各市町村の負担金である。老人クラブの数が3カ所減っているが最近1カ所復活している。老人クラブは必要な組織であるから支援をしていく。

補正予算の質疑から

調理場の建設地が埋蔵文化財の指定地となっている件について質問があったが、検討の結果現在の予定地が最適と判断した。重要なものが採掘された場合は工期が延長されることもある。

一般質問

Q 喬木村の福祉事業
 に関しては、民生委



リフト車による送迎

村長
 役割分担を明確にする

福祉事業の一元化の考えは

筒井正司 議員

員、社協、やすらぎ支援会、傾聴ボランティアグループ等、行政、社協の管轄の組織が十分な連携が取れていない。福祉活動については将

来村として一元化をする考えはないか。また、省エネについて昼休みなどの消灯管理はどのようなになっているのか。

A 福祉活動は、行政にとっても社会福祉協議会にとっても重要な施策である。活動内容については、行政、社会福祉協議会とも連携を充分に取り、それぞれの方針や具体的事業の計画、実践、実情を理解し合い、独自事業や共同事業、それから委託事業など、明確になるように取り組むことに心がけていく。税務戸籍などの窓口は住民サービスのために点灯しそれ以外は、消灯に取り組んでいる。

給与等引き下げの人事院勧告を喬木村でも受け入れるか

大平武司 議員

村長

12月定例会には提出する

Q

昨今の経済不況で完全失業率は過去最悪を記録する可能性がある。中小企業はもとより大手企業においても人員の採用が慎重になっている。

こうした民間の経済状況を反映して国家公務員一般職の給与と手当を引き下げよう人事院は勧告した。喬木村役場職員の給与等において人事院勧告に基づ



勤務中の役場職員

き勧告を受け入れるか。

A 人事委員会を持たない小さな市町村は、人事院勧告を準拠することで、労使間の信頼関係を保っている。喬木村で

は、今までも人事院勧告を受けて対応してきた。今回の勧告は出たばかりで9月議会では見送った。12月議会には、提出できるように、担当課に指示してある。

は、今までも人事院勧告を受けて対応してきた。今回の勧告は出たばかりで9月議会では見送った。12月議会には、提出できるように、担当課に指示してある。

一般質問

村長二期の村政総括は

大原 裕夫 議員

村長 活力ある村となってきた

Q 二期目の実績についてどの様に総括するか。

少子高齢、人口減少が進む中で、安定した財政運営のために、若者の就職先の確保を含めた産業振興対策として、企業の誘致等、村として独自の取組みを行う考えは。人口減少問題を考える上で、中山間地域の活性化対策をどのように進めて行くのか。

三期目に向かって最も重要となる課題は。

A 安心安全な暮らしやすい村づくり、7千人の確保の施策、子育て支援、高齢者福祉の充実に努力したと思っっている。自治振興交付金の創

設により、活力ある村となってきた。昨今の経済状況で企業誘致に不利な条件の下で、田中下工業団地を推進したい。

中山間地域の対策だけでは解決できない。全村的な対応策を講じる必要がある。

課題は、定住人口の確保が第一と思っっている。



9月定例会で出馬を表明する大平村長

若者支援策は？

太田 忠 議員

村長

雇用奨励金制度を飯伊で検討

Q 景気悪化により高校生の就職先が少なくなる中で、飯伊町村による「雇用奨励補助金制度」創設を歓迎したい。経済悪化をどう考えるか。自治体としての若者支援策は他に何か出来る事はあるか。一定の生活資金をすべての人に条件をつけずに給付する「ベーシックインカム(定額給付金)」をどう思うか。

特別職報酬審議会委員について、村長からの委嘱のほか、2名程一般公募は考えられないか。



成人式を迎えた喬木の若者

A 規制緩和で強い企業や、能力ある個人を盛りたてて、国際競争に勝ち抜こうという思想が、今の金融危機の原因だと思っ。

雇用奨励金制度は今後も飯伊全体で検討を深めながら非常事態の打開策

を見出していく。ベーシックインカムは国で方針が示された時あらためて考えていく。特別職報酬審議会委員の一般公募のあり方については、慎重に検討していく。

一般質問

Q 生活困窮による国保被保険者の医療機関での窓口で発生する「未収金」が大きな問題となっている。



国保の特定健診

村長

国の基準が示されたら取り組み

国保一部負担金減免

制度の実施を

原 東彦 議員

厚生労働省では一部負担金の減免制度を推進している。村でも一部負担金減免実施のための制度を設ける必要があると思うが村長の考えは。

保育所の保育士の嘱託、臨時職員化が進んでいる。三園で給食担当者を含め

30人中正規職員は9人だけである。保育の質を高めるためには、正規の保育士を多く採用することが必要と思うがどうか。

A 国保の一部負担金の減免については、

国民健康保険給付規則の第15条から17条に規定されており、実施は可能になっておるが、ただ実際には適用基準が定められていないために、今までも一部負担金の減免を行った例はない。国の基準が示されたら、一部負担金の減免に取り組んでいく。保育士は今27名で正規職員が9名、嘱託職員が18名で、今年に続いて来年も正規職員の採用を予定している。今後もある程度の正規職員を採用しながら、これからの保育体制を整えていく。

地区懇談会の評価は

屋 神 二三男 議員

村長

村政懇談会として今後も継続実施

Q 区・自治会単位で毎年2回開催している地区懇談会は、長年にわたる継続実施により、懇談会自体は定着されてきているものと思われる。質疑応答集を見る限りでも活発な懇談内容が推測される。

しかし、懇談会への出席人数から見ると必ずしも盛況な雰囲気は感じられない。平均出席率は村全体で20%、地域別では最高64%、最低8%で大きな地域



村政懇談会風景

差を感じる。この現状をどのように評価しているか伺う。

A 村政懇談会と名称を変えて開催しているが、その目的は、村からの報告や連絡と、多くの住民の皆さまに直接お目にかかる中で、意見等をお聞きする場でもある。

村政を担当するものとしては、出席率だけで評価はできない、たくさんの貴重な意見をいただいております、感謝しております。

今後も引き続き実施していく考えであり、住民の皆さんが出席しやすい時期、開催方法を検討していく。

一般質問

動画システムを、 最初の計画に入れなかったか

木下 壽雄 議員

村長
アナログの割合と費用負担から

Q 次世代ネットワーク事業は大変よい時期に完成した。この事業が2年遅れていけば、昨年のアメリカのリーマンブラザーズの破綻をきっかけに100年に一度の世界同時不況が押し寄せ、とても大変だったと思う。今回の補正予算で動画システムの設置工事が提出された。イチゴチャンネルをアナログ方式からデジタル化するが、なぜ19年度の最初の計画に入れてなかったか。

A 計画当初は70%がアナログの家庭だったので、アナログ方式をとった。デジタル化するため

には相当な費用を要し、村ですべて費用を賄わなくてはならない。今回、定住自立圏協定の中で、地域情報共有システムの構築が盛り込まれており、国の補助金によって飯田市と共にデジタル化が可能になり、喬木では動画システムを構築するための補正予算を今議会に提出した。



デジタル化となる端末

給食センター予定地の変更は

森谷 博之 議員

村長

予定地変更は考えていない

Q 給食センター予定地の埋蔵文化財発掘調査費として、補正予算に計上されているが、その金額が932万8千円で、その額の多さに驚いている。現在は、第一小学校併設であり、2校への配送だが、予定地では3校へ配送するが、適地といえるか。また、中学校南側のテニスコート付近



移転改築が計画される給食センター

も適地と思われるが、予定地変更を考える余地はないか。

A 過去にも豊丘村との共同設置を研究したが、2台の配送車と運転手が必要となり経費節減にならない点から、村単独で設置することになっ

た。

中学校南側には、テニスコート、職員駐車場、弓道場等があり、その外側は急な「なぎ」になっており地盤的に不安な面もある。また、配送車の出入りも不都合であるために、小学校北側の予定地が適地と思われる。

一般質問

Q 平成20年度決算に
よる未収金は、一般
会計で2千667万円、
特別会計での2千84万
円に不納欠損額114万
円を合わせ、総額4千8
65万円となっている。
この多額な未収金にはど
のような要因があるか。
納税は義務であること
の再認識と、特に悪質な
未納者に対し対策と未収
金の徴収方法は。

A 未収金増大の原因
は、税源移譲による
住民税が急激に増加した
ことが考えられる。

ここ数年、未収金は増
加の傾向にあり、今まで
以上の対策が必要と考
えるが、具体的な方策を考
えているのか。

20年度決算から 未収金対策は

小澤 博 議員

村長
悪質滞納者には法的手続きを進める

全職員が戸別訪問によ
る徴収を年3回実施して
一定の効果が上がってい
る。滞納繰越分の徴収率
が20%程で徴収率向上が
課題である。
本年度170件の財産
差し押さえ事前通告書を
発送している。悪質滞納
者には法的な手続きで進
める。
県税、市町村税の滞納
を一括して回収にあたる
全県的な組織を早ければ
2年後の立ち上げを予定
している。



役場内の税務窓口

Q

村の人口は7千人
を割り、今6千89
6人である。これまでの
村の人口増対策をどう総
括するか。

空家の活用を促進する
ため「喬木村補助金交付
規則の一部」が改正され
た。

補助金の対象には空家
の中のゴミのかたづけも
含まれるか。住宅の水洗
トイレは今や常識となっ
ているがこの事について
は適用になるか。

この補助金は空家の所
有者はもちろんのこと、

空家を第二の人口増対策に！

元 島 賞 子 議員

村長

検証し更なる人口増の推進

借りる人が改修する時も
対象となるか。

A 村の人口は総体的
に微減傾向。これま
で人口増対策に投資した
金額は4億6千271万
1千円、定住者は74人、
家賃収入は446万4千
円。平成22年度は人口増
対策の見直し時期で、検
証し更なる人口増の推進

を図る。今回の補助金の
改正は、空き家に住める
よう改修費の1/2以内、
限度額50万、1戸につき
一回、トイレの改修、空
き家内のゴミのかたづけ、
取り壊しにも適用される。
村内業者が施工箇所の一
部でも担う事である。
貸主借主に双方に適用
になる。



空家に入居した山本宅（野田原）

議会傍聴に参加して思うこと

小川馬場
鈴川 いさ



等26年を経て喬木村嘱託職員として、さくらの園に8年間勤めさせていただきました。

役場の幹部職員に、また村議にと、遅しく立派に成長され、喬木村を背おつている彼等の凛々しい姿！安養寺での保育園時代の、愛らしかった童顔の面影に、当時の個性等も重ね、懐しく感動いっぱいです。

私は喬木保育園16年半を経て、縁あつて県職員に、福祉行政のうち、知的障害児童施設、病院、下伊那地事厚生課、総務課(行託)

退職後、婦人会活動に

参加することになり、村会の傍聴が行事計画にあり、年に2〜3回これを実施し9年になります。傍聴に参加して多くの教え子が喬木村の活性化、発展を熱心に論議されています。

この様な彼等の晴れ舞台を眼の当りにして喜び感動できるのは、保母であつたこと、婦人会活動の御縁と、自分の生き様を自負しています。

そこで、村議各位、雑壇の各位に、期待をこめ、感謝と要望を申し上げます。今年村の発足135周年の記念事業の種々が、スムーズに進行されており御苦労様です。

明治大学生のマンドリオンラジオ体操公開放送も素晴らしかった。私は折々、み椅子持参で参加、良

き想い出となります。早速午前9時のニュースで一部が放映されました。喬木村のPR大です。この自立の喬木村に住んで良かった、村づくりに向けて、中原の児童公園、旧中グラウンドの芝生化、さくらの園移転改築等が完成、喜ばしい限りです。

反面アステイ喬木の閉鎖は残念、苅狩り、くりん草園も発展し、観光大型バスも入つてきております。この村に宿泊施設の無いのは無念、古くから名高い「小川の湯」の改善整備に村の力は如何か。

ふるさと納税金等の考慮は如何かと、御検討を宜しくお願いします。

また国政は政権交代で、強引な見直しには不安と反発さえ感じます。国民中心の政治と言いつつも、住民の要望に耳を貸さない大臣もあります。

村政発足135周年のわが喬木村、大平村長さんと共に、村議、村職員各位、住民の尽力によりこの健全な発展が永遠に続きますよう、人口七千人を祈ります。

12月定例議会に傍聴に来て下さい

役場2階議場で開催いたします。
細かい日程、内容については、議会議務局までお問い合わせ下さい。
多くの方の傍聴をお願いします。

編集委員会

- 委員長 横前 豊
- 副委員長 小澤 博
- 委員 元島 賞子
- 委員 森谷 博之
- 委員 昼神 三男

あとがき

住民と議会が共に情報を交換しながら明るい安全な暮しができる村づくりの為に議会だよりが役に立てば、と考えています。また今回から議会のPRも掲載いたしました。

台風18号 伊久間原中心に甚大な被害



今回台風18号の被害は飯伊地方でも2億円近い被害が発生し喬木村でも伊久間原中心に収穫間近なリンゴが落果し、ビニールハウスの破損も20件発生した。喬木村でも農林業を主に約2千5百万円(第一次被害集約)の大きな被害が発生した。

議会では、台風当日、総務産業建設委員会が村内を視察し、状況を把握し今後の被害対策に対応する為に、一早く現地踏査を行った。